

特集 新型コロナウイルス感染拡大を抑制する印刷技術を活用した製品・サービス群

OSP マスク装着アイガード 飛沫感染リスクを軽減



マスクの紐を切り込みに引っかけるだけのマスク装着カバーを開発

大阪シーリング印刷 寺区、松口正社長は、株式会社(大阪市天王)マスクの紐に装着する

・工場・スーパーなど、対面業務を行う現場では顧客や従業員を飛沫感染から守るための対策を講じることが急務となっている。そうした背景から同社では、これまでにフィルムや紙を取り扱ううえで「切る・折る・貼る」といった加工技術を活かして社会貢献することを決め、使いやすさを追求したマスク装着アイガードを独自開発した。

装着するタイプであり、他社製品と比べて締め付け感がなく、軽量であるため長時間の装着も負担にならないものとなっている。安心・安全の日本製であり装着方法もマスクの耳ゴムに引っ掛けてクイック装着でき、透明PETフィルム(厚み188×250μ)を使用しているため、視界を遮りにくい構造で透明感が高く、装着したままで眼鏡の取り外しも行える。

同社レールプリンティングカンパニーのネラルマネージャーの松原一裕氏は、「知合いの医療関係の方から『マスクや防護服、フェイスシールドの入手が困難になり、簡易的な製品を作ってほしい』という要望があったことが開発のきっかけとなりました。そこで当社では、これまで培ってきたフィルムや紙器パッケージ製品を開発する加工技術を活用して安価で使い勝

手の手、イカ、し、こと、合、たマ、ドは、でマ、みに、使え、す。違和、付け、いと、付、た、た、も、

扶 アイロン要らず布用シール マスクデコの新常識を提案

株式会社扶桑(東京都葛飾区、富田晴社長)は、綿・革・化繊など、さまざまな生地素材にこそるだけで貼ることが出来る布用転写シール「irrod(イロ

ド)の新ラインアップ「おうち遊びキット」の販売を開始した。同社は、1964年に東京都葛飾区で創業して以来、半世紀にわたる経験によって培

た特殊転写技術を活かして転写シールの開発・製造を専門に行ってきた。2016年には、葛飾区より特殊転写技術が認められ、葛飾区の町工場から産み出される製品・部品の葛飾ブランド「葛飾町工場(まちこうば)物語」の認定製品として認定を受けた。

また「東京ビジネスデザインアワード2017」において最優秀賞を受賞したことをきっかけに自社のBtOC向けプロダクト製品「irrod」を開発し、展開を続けている。

これまで、一般的に生地製品のデコレーションを施しめるアイテムは、アイロンが必要なものやワッペンが主流となっていたため、使用できる人・場所・素材に限られていた。同社では「そうした煩雑さを解消したい」と考え、「irrod」の開発に着手。



布マスクにもピッタリなアイロン不要の布用シール

友野印刷株式会社(岡山市北区、代表取締役・友野宏史氏)は、

友野印刷株式会社(岡山市北区、代表取締役・友野宏史氏)は、

友野印刷株式会社(岡山市北区、代表取締役・友野宏史氏)は、

アシヤ印刷 抗菌マスクケースを商品化 広告制作会社とコラボ

アシヤ印刷株式会社(兵庫県姫路市)が独自開発している「抗菌マスクケース」が好評

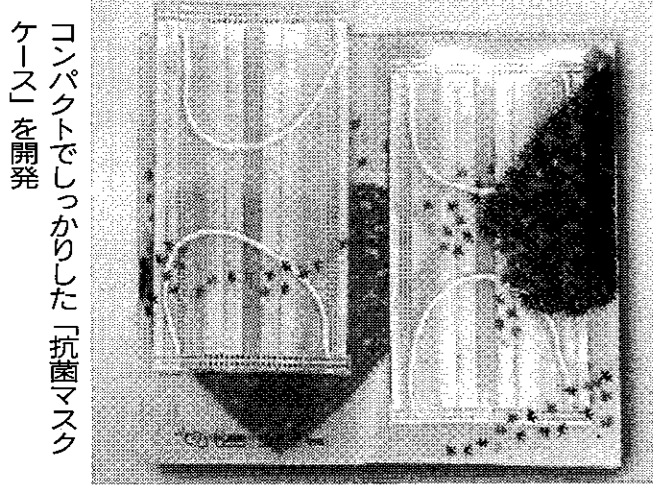
なる環境下において、群馬県高崎市内で広告制作会社を手掛ける有限会社タケイアートプロシエクトがアシヤ印刷と共同で製作した「抗菌マスクケース」が、印刷特有の匂いを抑える特殊なインクを使用することで不快感を与えない商品として人気を集めていること

が地元テレビ局(群馬テレビ)で取り上げられた。

現在、新型コロナウイルス感染拡大が終息する気配が未だに見えない環境下において人々が感染予防に対して最善を尽くす中でア

シヤ印刷では、これまでに蓄積してきた技術力をもとに、コンパクトでしっかりとした「抗菌マスクケース」を商品として市場に投入した。今回、タケイアートプロシエクトが製作した「抗菌マスクケース」では、夏野菜やフルーツといった可愛いデザインの商品をはじめ、和紙風の加工が施されたケースも用意された。すでに農産物や特産品などを販売するJFAファーマーズ高崎吉井店で販売が開始され、人気を集めているという。

タケイアートプロシエクトの坂田正美さんはテレビの取材に対して、「これからの日常



コンパクトでしっかりとした「抗菌マスクケース」を開発

は、また新しいものに変わっていくと思われ、その時にマスクケースも一部として新しい生活の中に取り込んでいただければ良いかなと思います」と語っている。

一方で、視聴者からは「デザインがとても可愛くてほしい。今使っているマスクケースがもう4年目でポロポロなので、新しいのを探しているところ。群馬では買いに行けないから、通販してくれないかな」と数年前から免疫抑制剤を服用しているため、マスクが欠かせなくなりましたが、最近マスクのグッズが増えて選べるのはいいですね。抗ウイルスのケースは中々見当たりませんが。コロナ前には

マスクケースの種類がホントに少なかったのが今なら気に入ったものが見つかる気がします」といったコメントがYouTubeのコメント欄に寄せられている。

なお、同製品は付きシングルタイプとダブルポケットタイプのほか、抗菌タイプの用意されている。問い合わせは同社、電話079(281)0022まで。

群馬テレビで放映された内容は次のQRコードを読み取ると視聴できます。

